

第 18 回日本消化管 CT 技術学会学術大会

小樽掖済会病院 平野雄士

2019 年 6 月 1 日（土）、第 18 回目の消化管 CT 技術研究会を日本消化管 CT 技術学会として札幌の創世スクエア内にある札幌文化芸術劇場（hitaru）クリエイティブスタジオにおいて開催しました

（Fig.1）。

消化管 CT 技術研究会は「CT colonography を中心とした、消化管画像検査に携わる医療従事者の意見交換とレベルアップを目的とした研究会」として 2010 年 6 月に国立がん研究センター国際研究交流会館で第 1 回の研究会を開催して以来、年 2 回のペースで全国各地において開催してきました。この間 2011 年 8 月には炭酸ガス自動注入器が薬事承認され、CTC が検査手技として正式に認められた形となりました。翌年 2012 年 1 月には大腸 CT 加算が診療報酬において点数化され、大腸 CT は多くの施設で行われるようになりました。現在では年間 10 万件近くの大腸 CT が行われていると予想されています。

そのほか、大腸 CT 専用マットの開発や大腸 CT 用検査食の発売、2016 年には大腸 CT 用経口造影剤であるコロنفォートが発売されスクリーニング大腸 CT を行う環境が徐々に整ってきました。

研究会のテーマとしては、前処置法、腸管拡張法、画像解析法、X 線被ばく、ポリープの検出能の向上などディスカッションを行い、より良い大腸 CT 検査法に向けて進んでいます。

このように研究会を重ねる中で少しずつ環境が整い、この研究会もある程度の役割を果たしてきました。そしてこれからの役割としてエビデンスの構築の議論もあり、今回この研究会を学会にしようということになりました。現在、学会として NPO 法人を申請中であり、大腸 CT 認定技師を視野に入れながら、学会誌を年一回発行する予定であります。学会となって記念すべき第 1 回目の学術集会を札幌で行うことができたのはとても光栄なことです。少ないメンバーでようやく途に就いたばかりなので、まだまだ足りないところがありますが、皆様にも温かい目で見守っていただきたいと思ひます。

さて学術集会としての札幌での開催は 3 回目で今回は私が大会長を務めさせていただきました。(前回もだったかな?) 実行委員長は 4 月に斗南病院に移ったばかりの高林さんをお願いし、色々と大変な手配もほとんどは高林さんに動いて頂きました。そのほか実行委員として(敬称略)原田耕平(札幌医科大学附属病院)、渡辺直樹(小樽協会病院)、鳥本温子(札幌溪仁会リハビリテーション病院)、大家佑介(小樽掖済会病院)。津元崇弘(網走厚生病院)、二俣芳浩(網走厚生病院)、平野智之(川崎市多摩病院) にお手伝いいただき、盛会のうちに学術集会を終えることができました。お集まり頂いた皆様、お手伝い頂いた皆様ありがとうございました。(fig.2)

会の内容については、インナービジョンのインナビネットで紹介されているので、こちらをご覧ください。

<https://www.innervision.co.jp/report/usual/20190705>

前処置のシンポジウムは現在の多少混乱している状況から方向性が見えてよかったかなと思いました。講演では済生会熊本病院の松田さんが練りに練ったデータを用いた読影トレーニングについてお話してくれました(Fig.3)。笹井先生の特別講演も欧州の CTC との比較において日本の CTC のあり方をお話しいただきとても興味深い内容でした。(Fig.4)

今回は前日の金曜日に北海道消化管 CT 研究会も併せて行ったので、2 日連続、大腸 CT でお腹一杯の会になりました。

情報交換会はジギスカンで相変わらず楽しく懇親を深め、2 次会では「俺の CTC」も復活しました。(Fig5、Fig6) みんな最後までよく頑張りましたね。

ところで、学会の入会方法は下記のホームページにてご確認願います。

<http://gict-tec.com/>

今後ともよろしくお願いたします。



Fig.1 研究会から学会へ名称変更の説明
クリエイティブスタジオは綺麗で設備が整った素晴らしい会場でした。



Fig.2 残ってくれたみんなで撮った集合写真
みんなの力でいい会になりました。ありがとうございました。



Fig.3 一次読影についての講演風景
済生会熊本病院の松田さんが練りに練ったデータを用いた読影トレーニングについてお話してくれました。



Fig.4 ニッポンの CTC を講演して頂いた笹井先生
欧州の CTC との比較において日本の CTC のあり方をお話しいただきました。



Fig.5 情報交換会はジンギスカンとビール。



Fig.6 2次会では「俺のCTC」が復活しました。